

I . 講演の部

矢野さんの基調講演は、無印良品の事業展開の紹介を通じて、感じ良い社会へ向けたデザインのあり方についてお話いただきました。鞍田さんの話題提供では、民藝の取り組みを現代においてオルタナティブな暮らし方を追求する人たちに重ねながら、この時代にモノと向き合っていくことの意味についてお話いただきました。

その後、梶谷さんによる進行のもと、お二人の対談を実施し、Twitterからの質問にも答えていきました。

ここでは、基調講演と話題提供の2つの講演要旨、対談の記録をご紹介します。これらは、先立って行われたポスター発表の内容も参照しつつ進められました。



講演者紹介

1. 基調講演

矢野 直子 (やの・なおこ)

株式会社良品計画 生活雑貨部 企画デザイン室長



東京都生まれ。多摩美術大学卒業後、1993年、株式会社良品計画入社。2013年より、生活雑貨部企画デザイン室長を務める。2014年より多摩美術大学統合デザイン学科非常勤講師。

2. 話題提供

鞍田 崇 (くらた・たかし)

明治大学理工学部 准教授



兵庫県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科修了。専門は、哲学・環境人文学。地球研を経て、2014年より現職。著書に、『民藝のインティマシー』（明治大学出版会 2015）、『「生活工芸」の時代』（共著・新潮社 2014）など。